

【評価実施概要】

事業所番号	170503189		
法人名	社会福祉法人 愛全会		
事業所名	アビターレグループホーム		
所在地	〒062-0932 札幌市豊平区平岸2条2丁目1-1 (電話)011-821-7000		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒061-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年12月9日	評価確定日	平成22年1月4日

【情報提供票より】(21 年11 月24 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 4 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤	23人, 非常勤 0人, 常勤換算 0人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての	5 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	78,000 円	その他の経費(月額)	日額 高熱費753円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,300 円

(4) 利用者の概要(11 月 24 日現在)

利用者人数	27 名	男性	1 名	女性	26 名
要介護 1	2名	要介護 2	10名		
要介護 3	9名	要介護 4	3名		
要介護 5	3名	要支援 2	0名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	69 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	KKR札幌医療センター ・ 社会保険病院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高齢者総合福祉施設の5階にある3ユニットのグループホームである。1・2階はデイサービス、3・4階はナーシングホームとなっている。閑静な住宅街に立地しており地下鉄駅に近く利便性にも恵まれている。ホーム内部は広く明るく絵画や置物が飾られ、ゆつたりと寛げるように、快適さと安全に配慮している。職員は全員常勤者で利用者に対して個性を尊重し優しく接しており利用者の表情は明るい。法人との連携で防災・医療等で安心感があり、職員研修は充実している。総合福祉施設の設備や機能の利用により柔軟な支援を受けられている。地域の人々や家族の信頼は厚く質の高いサービスを行い期待されているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題はない。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義や目的を確認し、職員全員が参加して行なっている。自己評価は理念の実践や日々行なわれているサービス内容についての振り返りの機会として捉え、サービスの質の向上に繋がるよう取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2カ月に1度定期的に行なわれている。地域包括支援センター職員、町内会長、町内会婦人部長、民生委員、家族代表、職員が参加して3ユニット合同で行なわれている。ホーム運営内容、行事、評価、避難訓練等について話し合わせ、会議で討議された内容はサービス向上に活かされるよう取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	年2回家族交流会を開催して親睦と交流を図り、日頃から気軽に意見や要望が話せるように雰囲気づくりをしている。家族アンケートの実施や意見箱の設置で率直な家族の要望や意見を取り入れ、参考にして改善をはかっている。家族の意見は運営に反映するよう行なっている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し祭り等行事に参加している。地域の商店利用や散歩等で日頃から顔馴染みとなっている。中学生の総合学習の受け入れや認知症キャラバンメイトとしての活動等で地域の人々の認知症理解に努めている。専門学校生による音楽演奏や総合施設のイベント等を通して人々と交流を深めており、運営推進会議においては地域との協力連携が図られるよう話し合いが行なわれている。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を確認し、一人ひとりを尊重して住み慣れた地域で安心して生活できるように事業所独自の理念をつくりあげている。理念はユニットごとに利用者の声も取り入れ作成されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人理念と各ユニット理念を各ユニット入り口に提示している。毎日の申し送り時、カンファランス、ケアプランの見直し時には確認し、職員間で共有を図り、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、祭り行事の参加や近隣商店の利用等で顔馴染みとなっている。地域中学生の総合学習を受け入れ、専門学生の音楽演奏等施設イベントを通じての交流がある。認知症キャラバンメイトとして地域の人々の認知症理解を深める活動も行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は評価の意義や目的を理解している。職員全員が自己評価に参加し日頃のケアサービスを振り返る機会と捉え、外部評価結果を踏まえて課題に取り組みサービスの具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は3ユニット合同で2ヵ月ごと定期的開催し記録している。地域包括センター職員、町内会代表、家族代表、管理者、職員が参加しホーム運営内容や行事、評価、避難訓練等について報告し討議されている。討議内容を活かしてサービス向上をはかっている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>区担当者とは日頃から連携をとっており、行政の行なう各種研修会や地区管理者会議の他グループホーム連絡会等とおして常に情報交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>各ユニットで「たより」を作成しホームでの暮らし振りや行事を写真入りで伝えている。一人ひとりに手紙を送り身体状況や金銭管理について報告、領収書、出納表を送付している。体調変化があった時は早急に連絡をとり担当医からの説明を行なっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族来訪時には話しやすい雰囲気づくりに努め、年2回家族交流会を行い意見交換を行っている。家族アンケート、意見箱設置による要望等を検討して対応している。運営推進会議に家族参加があり、家族の意見は運営に反映させるよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限に留め、人事異動には十分な引継ぎの時間を設け利用者、家族の信頼が途切れないようにしている。異動は「たより」などを通じ速やかに家族へ伝えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部、外部研修は全職員が受講できるように配慮している。法人内の研修は必ず参加するように勤務調整をし、必要に応じ同じ研修を2度行ない、研修後はカンファランスで報告し共有をはかっている。内部研修は施設内とGH事業室で行い各委員が中心となり毎月行なっている。スキルアップについても進めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム地区連絡会議に参加している。法人内の16ユニットのネットワークで勉強会を行い情報交換している。地区連絡会議では白石区と合同の研修会に参加しており、勉強会や相互訪問等の活動を通じてサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービス開始前に職員が自宅訪問し本人や家族の話を聴いたり、利用者が家族と共にホーム見学を行なうなど雰囲気徐徐に馴染み、納得して入居できるように配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と共に悲しみ、喜び等の思いを共感し互いに支え合う関係を築いている。利用者の生活歴などから得意なことを見極め、習字、手芸、掃除、買い物等で力を発揮し役割を担うように配慮し共に過ごしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で表情、言動から利用者の希望や意向を把握するよう努め、生活シートフェイスシートの記録を参考にして生活歴等の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は家族や関係者から情報を得るようにし本人の視点にたって検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者や家族の意見や要望を聴き、日頃の関わりの中からより良く暮らす為の希望やニーズを汲み取っている。カンファランス等で内容を検討し、職員、医師、看護師など関係者と十分話し合いを行ない利用者本位の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは定期的に行なわれている。見直し以前に状態に変化が生じた場合は介護支援専門員を中心に本人、家族、職員、医師、関係者と話し合い、現状に即した新たな介護計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院受診、遠出の外出など本人や家族の要望に応じて事業所の車輛を出し付き添い支援をしている。親族による食事会の部屋利用、デイサービスの方達とのマージャン、喫茶売店の利用など総合施設の設備と機能の活用がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>日常の健康管理は週1度の訪問看護師、2週に1度の医師による訪問診療で行なわれている。利用者希望のかかりつけ医への受診は連絡、通院支援を行ない、常に適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重度化した場合に於ける対応に係わる指針」が重要事項に補足添付されており、利用者、家族、関係者が認識を共有している。本人、家族の意向をもとに、事業所ができる最大の支援と家族が協力できる支援をよく話し合い医師の指示のもと対応している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないよう言葉かけや動作に配慮している。個人情報記載の記録等は雇付きの所定の収納場所に保管されておりプライバシーが保護されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの意向やペースを大切にして心身の状態に配慮しながら日々の生活が希望に沿えるよう努めている。リビングのソファで寛いだり、デイサービスの利用者とマージャンを楽しんだり、施設内での喫茶コーナーの利用等希望に沿った生活の様子が窺える。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は利用者の力や希望に合わせて、材料刻み、味付け、盛り付け、配膳、後片付けなど職員と共に行なっている。静かに流れる音楽のなかで、職員と共に食卓を囲み談笑しながらの食事は1日の楽しみとなっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望やタイミングを大切にして時間に拘らず午前、午後の入浴を行なっている。事前に声かけして意思確認を行いゆっくり入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	もてる力や希望を活かして役割や楽しみごとがあるよう支援している。食事の下ごしらえ、盛り付け、後片付け等の役割がある。施設内ではボランティアによるピアノ演奏、有名歌手のコンサート鑑賞、マージャン等がデイサービスの人と共に楽しめる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、美容室利用、外食、庭仕事等で戸外に出かけられるよう日常的に支援している。適時にホーム行事があり、花見、薔薇園、紅葉狩り、農園収穫等の戸外レクリエーションが企画実行されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットは鍵をかけないで自由に行き来することができる。危険防止の為エレベーターには暗証番号があるが職員と自由に利用できる。総合施設の入り口には常時受け付け職員が配置され、利用者の顔を認識しており外出には声かけができるよう配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署による避難訓練を実施している。防災マニュアルに沿って日中、夜間を想定した訓練を行ない各ユニットごと避難場所、方法を確認している。施設全体で救急対応の研修会を行っており、3ユニットで対応できる緊急連絡網が整備されている。地域との協力についても検討している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事摂取量や水分摂取量を記録し確保できるように支援している。不足しがちな場合は盛り付けや食材形態を工夫し摂取を促し、時には補助食品を利用している。法人管理栄養士が栄養バランス、カロリーを考慮して献立作成している。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は明るく十分な広さがあり絵画や置物が飾られ、静かに音楽が流れる優雅な雰囲気の中でゆっくり寛げる空間となっている。廊下には各所に椅子が置かれ寛ぎながら札幌近郊の山々の四季の姿やビル街の夜景を楽しむことができる。各所にさりげなく手摺が設置され安全で清潔な環境が保持されている。温湿度騒音管理も行き届いている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い馴れたベットや家具が持ち込まれており、家族写真や趣味の作品が飾られている。収納箇所も十分あり衣類等が整頓され掃除も行き届き清潔である。各室採光に恵まれ眺望も良い。		

 は、重点項目。